

東京の大学を知ろう!(VII)

～シリーズ:大学について知ろう(その16)～

今回は良家の子女が多く俗に「お坊ちゃま大学」と呼ばれる東京の4大学を紹介しましょう。この4大学は毎年秋になると「四大学運動競技大会」(彼らは「四大戦」と呼んでいる)を持ち回り会場で開催している仲の良さ。この四大戦で圧倒的な強さを誇っているのが、天皇家の愛子様が在学中の(1)大学。それに続くのが、あの吉祥寺が最寄り駅で安倍晋三前首相の母校である(2)大学。三番手が高級スーパーマーケットとして名高い「(3)石井」の発祥地である超高級住宅街にあり、「えなりかずき」や「高島政宏・政伸」兄弟の母校(3)大学。そして1回も優勝経験がないのが今をときめく講談師「神田松之丞(現在は「神田伯山」を襲名。私は3年次主任に似ていると思っている…)の母校(4)大学。1950年に始まったこの四大戦は、一般学生や教授の試合などもあるので、この順位はどうしても大学の規模の違いを反映してしまうようなのですね。

さて、なぜこの四大学が仲良しになったかという、みな旧制高等学校として1949年まで東京大学の教養部を担っていた伝統があるからなのです。そこで培われた総合的な人間力を養うリベラルアーツ教育と、都会の紳士的でスマートな文化を受け継いで今に至るのがこの4大学。なお、関西でこの4大学と親交があるのが神戸市東灘区にある(5)大学。もちろん関西 No.1のお坊ちゃま大学で、毎年(1)大学と運動競技総合定期戦を開催しているのです。

※上記の()の答… 1. 成蹊 2. 成蹊 3. 成蹊 4. 武蔵 5. 早稲田

以下の文章は7年前(2013年)に私が学習院大学の説明会に行ったときのことを書いたものです。都心にある天皇陛下の母校の雰囲気を感じただけ味わってくださいな。

GAKUSHUIN UNIVERSITY

学習院大学に行ってきました…

学習院大学は駅から30秒?! 学習院大学の案内には「目白駅から徒歩30秒!!」と書いてあります。そんなに駅から近い大学が本当にあるのでしょうか? しかも、目白駅はJR山手線の駅で池袋の隣です。半信半疑の私は実際に計ってみることにしました。目白駅の改札を出たところから数え始めます。1, 2…7秒で外に出て右に曲がります。横断歩道が見えます。19, 20…信号は青なのでそのまま5mほどの道路を横断します。目の前は学習院大学の西門です。28, 29, 30…西門到着! 本当に30秒で学習院大学に着いちゃいました! あるんですね、こんなに駅から近い大学が…。



目白駅前の横断歩道と学習院大学西門

学習院大学で学生人気No1のメニューを食べてみる… 土曜日ですが午前中は講義があるので、学生達もたくさんいます。鬱蒼とした木立の中を歩きながら学生食堂を目指します。輔仁会館という4階建ての建

物の1階に「カフェテリア杜」という名の学生食堂を発見! ところが食券販売機の前で悩むこととなります。定食は「Gランチ」(AやBはありません。Gだけです。たぶん「学習院」の頭文字でしょう)と最近始めたという「目白ランチ」。どちらもおいしそうです(両方とも420円)。ここで悩みながら目を下の方に移すと、「人気 No1」の張り紙が見えるではありませんか。そのメニューは「唐マヨ丼」(360円)。今日のお昼はこれで決まり! でもたぶんこれって唐揚げとマヨネーズ…健康に気を遣う中年男性としては「サラダ」(100円)と「味噌汁」(30円)を組み合わせよう! というわけで、合計490円の豪華昼食となりました。



唐マヨ丼・サラダ・味噌汁

キャンパスツアーで学習院大学を一回り…

受付を早めにすませ、説明会前に行われた学生ガイドによるキャンパスツアーに参加しました。ところで、学習院大学のルーツは1847年に京都御所につくられた皇室用の学習所。明治時代になって東京に移り、1908年に目白に移転。太平洋戦争後の1947年に私立大学となりました(一般庶民も入学できるようになったというわけだ)。学部は法・経・文・理の4つ(注)。1学年が2000名前後という有名私立大としてはコンパクトな大学で、キャンパスは目白だけ(つまり4年間みんな一緒!)



西1号館入口

都心にありながら緑豊かなキャンパスには文化財となっている建物も多く、中でも英国の名門イートン校をモデルに建てられたという西1号館はクラシックな外観がすばらしく、かつて皇族寮だった木造の東別館は歴史を感じさせる建物です(驚くことに今でも授業に使っている!)。さらに体育館はもちろん、野球場、人工芝のグラウンド、柔剣道場、テニスコート、そしてゴルフ練習場や馬場・パドックまでこのキャンパスにはあると言うからすごい(さすが学習院です…)

(注)2016年に在学中に海外留学を必須とする国際社会学部が新設され、現在は5学部体制

学習院大学はランキング外の大学だっ

説明会は学長とアドミッションセンター所長の挨拶に始まり、各学部の説明が教授陣から行われました。なかでも法学部政治学科のFTコースの説明は印象に残りました。このコースは1年次最後に15名を選抜する超エリート養成特別選抜コースで、学部を3年間で卒業し大学院進学が可能。教授の説明後に3年生の女子学生1名が壇上に立ち、このコースの事や自分の様子を200名を超える高校教員の前で話してくれたのですが、話しっぷりは堂々としている上、時折混じる英語の発音はネイティブのよう…。説明会の後は「理学部施設見学」に参加。大学院生の案内で4年前に竣工した南7号館(地上9階、地下1階)へ向かいます。理学部は数学・物理・化学・生命科学の4学科で1学年の定員は合計210名、そして教員は65名。これって国立大学並み! 最新設備の南7号館には工作室や学生実験室が下の方の階にあり、上層階には各学科の研究室がありますが、各研究室に配属された学部4年生や院生には全員に1つずつ机が与えられていました(やっぱり国立大学並み!)。というわけで、学習院大学はその歴史や学風から良家の子女の多い、言わばランキング外の大学といえるでしょう。

今回のお土産は…

実は最初に昼食をとった後、輔仁会館の2階にある蓼々会という学習院グッズを扱う売店でゲットしちゃいました。購入したのは院章(学習院大の校章)である桜や学名が刻印された「学習院煎餅」(8枚入り1,000円)。ちょっと高めですが、箱もしっかりしていて高貴な雰囲気がします。これを食べて息子が気に入ればもしかすると愛子さまのご学友になるチャンスはあるのです! でも、家に帰って、風呂あがりに真っ裸で家の中を走り回っている下品な息子を見たとき、愛子さまとご学友になる夢は桜の花びらのように散ってしまったのでした…。